

しあわせを  
共に産み出す党  
日本共産党



# 九月町議会報告

町議会議員 常山知子

9月12・13日の2日間、皆野町議会の9月定例会が開かれました。一般質問4名(小杉、常山、林、内海の各議員)町長提出議案12件でした。

主な内容は、平成23年度一般会計決算、特別会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療)決算認定でした。平成24年度一般会計補正予算などでした。

## 住民税が増税に

自治体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保にかかる町税を平成26年6月から10年間、個人住民税に均等割りで500円の税金が増えます。

すでに県民税分500円が決まっていますので、均等割り部分が年間1000円の増税になります。

常山知子は、この条例に次の理由で反対しました。「東日本大震災からの復興をはかることを理由に、個人住民税の均等割りは所得が少ない人にも増税を押しつけることになる」

## 平成23年度(2011年)一般会計 決算

歳入 41億2334万7千円

主なもの(特徴)

町民税	4億6897万3千円
固定資産税	5億5793万1千円
地方交付税	15億2552万9千円
国庫支出金	3億6916万9千円
県支出金	2億7878万2千円
町債	3億1080万円

歳出 39億6916万3千円

(特徴)

- ・みーな子ども公園整備事業 5854万7千円
- ・皆野中学校  
体育館 耐震補強工事 6037万5千円
- ・皆野小・国神小・金沢小・三沢小  
教室空調 設備工事 4252万5千円
- ・皆野中学校  
教室空調 設備工事 1276万8千円
- ・柔剣道場 冷暖房設備工事 1795万5千円
- ・皆野総合センター  
調理室 改修工事 438万7千円
- ・予防接種助成 1872万8千円

## 住民税増税の裏には?

昨年11月に、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源確保は、地方税を上げてやりなさい。という法律が国会で可決(日本共産党、みんなの党、社民党が反対)を受け、今回の税条例が提出されましたが、国は自治体が税条例を改定しなかった場合は、財源があるとみて、地方債(借金)が県知事の同意から許可制になる、地方交付税を下げるなどのペナルティをかけるとしています。自治体にとって、やむにやまれぬ対応だったかも知れません。

国は、「復興」を大義名分として「全国民が等しく負担をになう」という文句のもとに、法人税の大幅減税を実施する一方、庶民には増税を押しつけようとする、大衆増税の典型です。

(常山)

## ちちぶ農協皆野農産物直売所が『道の駅みなの』に

三沢入口信号そばの直売所が、10月7日から「道の駅」としてオープンします。

「道の駅」設置及び管理に関する条例の制定が議会で可決されました

### 町長にききました。決算に関して

○予算執行して、どのような成果を上げたか認識していますか。

答 町民の要望にこたえる町民の福祉、子育て支援、生活道の整備などを行うことができました。

### 課長にききました。

○ねたきり老人等に支給される、紙おむつについてニーズに合ったものを選べるように

答 検討していきたい

○子育て応援事業について、粉ミルク、紙おむつのほかに支給するもの考えてもよいのではないか、利用券をした人に対する救済処置を考えてほしい。

答 それ以外はかंगाえていない。再交付は考えていない